

西口駅前広場における平面駐車場の検討

	検討ケース①:平面駐車場(昨年度の検討ver)	検討ケース②:ロータリー上に屋根を整備	検討ケース③:平面駐車場の一部に屋根を整備	検討ケース④:駅前広場に融雪機能を整備
整備位置				
		<p>【検討ケース①からの変更点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ロータリー全面に屋根を整備。 	<p>【検討ケース①からの変更点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者動線にのみ、屋根を整備。 平面駐車場(第1駐車場)のスペースに、長期停車用の屋根付き平面駐車場または小規模な立体駐車場を整備 	<p>【検討ケース①からの変更点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前広場全体に融雪機能を整備。
整備イメージ	<p>現在のJR倶知安駅</p>	<p>【屋根】 雪は堆積させたまま(倶知安の冬の景観を見せる)</p> <p>ロータリー内に明かりが入るような工夫を施す</p>	<p>【事例】北陸新幹線飯山駅のロータリー上に整備された屋根</p>	<p>再生可能エネルギーの活用 木質チップを燃焼させ、木質チップボイラーにより路面に埋設された放熱管内を流れる不凍液を加熱し融雪する工法。</p> <p>試験開始前 試験開始後(20時間後) 木質ペレットボイラーを活用した融雪実験 (出典:岩手県工業技術センター研究報告第13号(2006))</p>
除雪対策	<ul style="list-style-type: none"> ロータリー、駐車場共に、除雪車による除雪を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ロータリー：ロータリーを覆う屋根を整備。 上記以外は、除雪車による除雪を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ロータリー：歩行者動線に屋根を整備。 駐車場：一部に屋根を整備。 上記以外は、除雪車による除雪を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ロータリー、駐車場共に、融雪機能による融雪を実施。
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 整備費用が最も抑えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ロータリー部分の除雪対策が不要。 ロータリー利用者が雨や雪にぬれずに移動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ロータリー利用者が雨や雪にぬれずに移動できる。 長期停車する人の車が、雪に埋もれる心配がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場全体の除雪対策が不要。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ロータリー及び駐車場の除雪対策が必要。 堆雪スペースの確保。 冬期、駐車場の稼働率が下がる。 ロータリー利用者から、雨天時や降雪時に濡れる等の苦情が発生する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ロータリーを覆う屋根の整備費用が発生。 駐車場の除雪対策が必要。 堆雪スペースの確保。 冬期、駐車場の稼働率が下がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間および長期停車用の駐車場整備費用が発生。 ロータリー及び駐車場の除雪対策が必要。 堆雪スペースの確保。 冬期、駐車場の稼働率が下がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場全体の融雪機能の整備費用が発生。 ロータリー利用者から、雨天時や降雪時に濡れる等の苦情が発生する可能性がある。